

序文	(現象学のプログラムが提示される)		
序論	(認識するとは何を意味するのか?)		
A.意識	I. 感覚的確信——目の前のこれと、思い込み		
	II. 知覚——物と錯覚		
	III. 力と学問的思考——現象界と超感覚的世界		
B. 自己意識	IV. 自己意識の真理	A. 自己意識の自立性と非自立性——支配と隷属（主人と奴隸）	
		B. 自己意識の自由——ストア主義、懐疑主義、不幸な意識	
C. 理性	(AA) 理性 V. 理性的确信と真理	A. 観察する理性	a. 自然の観察
			b. 純粋な状態にある自己意識の観察および外界と関係する自己意識の観察
			c. 自己意識と身体との関係——人相学と頭蓋論
		B. 理性的な自己意識の自己実現	a. 快楽と必然性
			b. 心の掟とうぬぼれの狂気
			c. 徳性と世のならい
		C. 絶対的な現実性を獲得した個人	a. 精神の動物王国とだまし——価値あるもの
			b. 理性による掟の制定
			c. 理性による掟の吟味
	(BB) 精神 VI. 精神	A. 真の精神——共同体精神	a. 共同の世界——人間の掟と神の掟、男と女
			b. 共同体にかかわる行動——人間の知と神の知、責任と運命
			c. 法の支配
		B. 疎外された精神——教養	I. 疎外された精神の世界
			a. 教養と、現実の教養世界
			b. 信仰と純粋な洞察
			II. 啓蒙思想
			a. 啓蒙思想と迷信とのたたかい
			b. 啓蒙思想の真実
		C. 自己を確信する精神——道徳	a. 道徳的世界観
			b. すりかえ
			c. 良心——美しい魂、悪、悪のゆるし
	(CC) 宗教 VII. 宗教	A. 自然宗教	a. 光の神
			b. 植物と動物
			c. 職人
		B. 芸術宗教	a. 抽象的な芸術作品
			b. 生きた芸術作品
			c. 精神的な芸術作品
		C. 啓示宗教	
	(DD) 絶対知 VIII. 絶対知		